



～ 志をもち 郷土を誇りに思い 郷土の誇りとなる～
「自己有用感(人、社会の役に立つ)」「自己肯定感(やればできる)」の高揚

キャリア体験学習 (3/4)

県建設業協会のご協力の下、キャリア体験学習を実施しました。建設業の魅力やふるさとへの貢献などのお話とともに、体験学習も行いました。

体験学習は、ふるさと館横の橋の工事現場で実施する予定でしたが、天候不良のため体育館で4つのブースに分かれ、疑似体験を行いました。

ドローンや測量、VR体験やパワーショベル模型の操縦、ARを使った橋の模擬設置など、初めての経験に子どもたちも驚きや喜び、新しい発見をしたようです。

大人は「誇りを持って仕事をしているんだ」ということを分かってもらえると幸いです。

なお、本体験学習の様子が五島ケーブルテレビにて放映予定です(日時未定)。



卒業式へ向けて

3月14日(金)に、卒業証書授与式を挙行いたします。三井楽中学校は、在校生は卒業生への思いを込めて、様々な準備をしています。”卒業生のために”という思いが伝わってきます。放課後に卒業式の歌の練習を自主的に行い、また、自宅でも卒業式や送別行事で使う道具を作ってきている姿があります。2年生や生徒会役員を中心に様々な企画を練り、そこに向かう姿を見て頼もしく感じています。

卒業生にとっては、三井楽中学校で共に過ごす時間もわずかとなりました。受験を終えたあとも、残りの時間を大切にしている様子がうかがえます。学習、行事、生徒会活動、部活動、地域貢献…、特にこの1年間の卒業生の活躍は目を見張るものがありました。

卒業生が”三井楽で育ってよかった。三井楽で学んでよかった。”とあって卒業できるよう、我々も最後まで頑張っていきます。

校長のひと一言

3月1日(土)、公立高校の卒業式が挙行されました。私は午前中に五島南高校、午後から五島高校定時制(以下五高定時)に出席しました。卒業生代表が「答辞」を述べましたが、心に響く素晴らしい内容でした。五高定時の卒業生代表は、65歳で入学した生徒が発表しました。4年間の思いが溢れる答辞でしたが、その中で特に印象に残った言葉が2つありました。

「自分から行動しなければ何も変わらない、始まらない」

孫と言ってもおかしくない年齢の生徒たちと、同級生として、そして学友として学校生活を送ることへの不安がありながらも「皆勤賞」という目標を立て、その目標を達成するまでの同級生や先生方との関わりの素晴らしさ、そして達成するまでの充実感に溢れていました。

「学ぶことは人生を豊かにする」

いくつになっても学びを続けることで、新しい発見や考え、知識などが身に付き、もっと学びたい、活かしたいという思いがとても伝わってきました。私より年輩の方がおっしゃる言葉には含著があり、深い感銘を受けました。

何もなくても、学ばなくても生きていけるかもしれませんが、しかし行動し、学びを続けることで、人生はもっと豊かになるということを再認識させていただきました。学校は様々な活動をし、学ぶところですが、「学びの種」は学校外にも多くあります。これから子どもたちに「学ぶこと」の大切さを説き続けていきたいと思えます。